第43回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス　会場・時間・セッション名

1月26日（火）

A（An301・302）	B（An401・402）	C（As311・312）	D（As313・314）	E（コンベンションホール）
9：30～12：00 セッションA1： エネルギーモデル（1） 国内シナリオ分析	9：30～12：00 セッションB1： 地域・自治体	9：30～12：00 セッションC1： 再エネ-EV連携	9：30～11：40 セッションD1： 省エネルギー	9：30～12：00 セッションE1： ＜企画セッション＞ 研究プロジェクト「カーボンニュートラルなエネルギー需給に関する調査研究」報告会
昼　　食				
13：00～14：30 セッションA2： 電力システム（1） DR・時間別CO_2	13：00～14：30 セッションB2： 再生可能エネルギー	13：00～14：30 セッションC2： 国内エネルギー政策	13：00～14：30 セッションD2： エネルギー資源・ 国際需給	13：00～14：50 セッションE2： ＜企画セッション＞ 国際的な議論を経て深化するエネルギー研究 ーIAEE Santiago 2026における日本からの発表とその展開ー
休　　憩				
14：50～16：20 セッションA3： 電力システム（2） 電源構成	14：50～16：20 セッションB3： バイオマス	14：50～16：20 セッションC3： 学校施設	14：50～16：20 セッションD3： 国際エネルギー・ 気候政策	

［特別講演会］　会場：An棟 2階　コンベンションホール

＊16：45～16：55　会長挨拶

＊16：55～17：55　特別講演　「AI・データセンター」（仮題）

…東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授　　江崎　浩 氏

［技術交流会］　会場：An棟 1階　ape cucina naturale

＊18：15～20：00

1月27日（水）

A（An301・302）	B（An401・402）	C（As311・312）	D（As313・314）	E（As303・304）
9：30～12：00 セッションA4： 電力システム（3） 市場価格・運用・投資	9：30～12：00 セッションB4： エネルギーマネジメントシステム・調整力供出	9：30～12：00 セッションC4： 部門別需要（1） 自動車・家庭	9：30～12：00 セッションD4： 産業連関分析応用	9：30～11：40 セッションE3： エネルギー貯蔵・ 再エネ水素
昼　　食				
13：20～15：30 セッションA5： エネルギーモデル（2） グローバルモデル・ モデリング手法	13：20～15：30 セッションB5： ＜企画セッション＞ エリアエネルギー マネジメントシステム （SIPプロジェクト）	13：20～15：30 セッションC5： 部門別需要（2） メッシュ統計・推計	13：20～15：10 セッションD5： レジリエンス・EV運用	
休　　憩				
16：00～17：30 セッションA6： マテリアル	16：00～17：10 セッションB6： CO_2吸収	16：00～17：10 セッションC6： 機械学習	16：00～17：10 セッションD6： セクターカップリング	

※An301・302はAn棟3階，An401・402はAn棟4階，As303・304，As311・312，As313・314はAs棟3階，コンベンションホールはAn棟2階

第43回エネルギーシステム･経済･環境コンファレンスプログラム

〔日時〕2027年１月26日（火） ９：30〜16：20
　　１月27日（水） ９：30〜17：30
〔会場〕東京大学 生産技術研究所（駒場Ⅱキャンパス）

・発表時間１題目20分（講演15分，討論５分）
・各セッションに10分予備枠を設定しています．
・発表者より提出された原稿に基づき再度審査を行い，採否の決定を見直す場合があります．
・○印は当日発表予定者，その他は共同研究者
・題目に若干の変更がある場合がございます．

１月26日（火）

９：00　受付開始

９：30〜12：00　セッションA1　エネルギーモデル（1）国内シナリオ分析　会場：A（An301・302）

A1－1　多部門エネルギー経済モデルによる燃料輸入制約下のエネルギー需給・産業活動への影響分析
○乾　颯太（東京大学）

A1－2　日本のカーボンニュートラル実現に向けたバイオ液体燃料導入のシナリオ分析
○小澤　暁人，工藤　祐揮（産業技術総合研究所）

A1－3　GCAMを用いた日本の2050年ネットゼロ・エネルギー転換経路の構築
○高瀬　香絵，西田　裕子，木村　誠一郎，後藤　恵陸，長谷　しほり（自然エネルギー財団）

A1－4　Book & Claimによる環境価値取引が国内SAF供給に与える影響の最適化分析
○辻村　一平，仮屋　夏樹（みずほ銀行）

A1－5　発電部門の詳細化が脱炭素政策のマクロ経済評価に与える影響
－日本を対象としたCGEモデルと電源構成モデルの統合－
○森本　壮一（日本エネルギー経済研究所）

A1－6　炭素価格政策と容量メカニズムの相互作用分析に向けた電力市場シミュレーションモデルの拡張
○髙橋　颯太，Benjamin McLellan（京都大学）

A1－7　世界エネルギーモデルと国内電力需給モデルの連携による日本の将来電源構成と地域配置の分析
○安藤　輝尚，佐野　史典，本間　隆嗣，秋元　圭吾（地球環境産業技術研究機構）

９：30〜12：00　セッションB1　地域・自治体　会場：B（An401・402）

B1－1　茨城県の水素エネルギーインフラに関する現状分析
〜水素エネルギーとエネルギーナショナリズムのケーススタディ〜
○有野　夢叶（茨城大学）

B1－2　広域自治体を対象としたライフスタイル分野の脱炭素施策導入可能性評価モデルの構築
○池田　耕介，岸本　一将，奥本　正風（建設技術研究所）

B1－3　発電地域との共生を促進する再生可能エネルギー電力調達に関する研究
－都市部自治体アンケート調査と地域共生認証制度の検討－
○重　浩一郎（八戸工業高等専門学校），坂巻　隆史（東北大学）

B1－4　気候市民会議から持続可能な地域づくりへ－しずおか気候市民会議の実践と展開－
○中井　梨紗子（中井俊裕カーボンニュートラルラボ）

B1－5　脱炭素政策はいかに地域変革につながるか
－アジア太平洋147事例と日本の脱炭素先行地域99地域からみるシナジーの実装条件－
○藤野　純一，小野田　真二，天沼　伸恵，ヘイチク パベル，ザスマン エリック（地球環境戦略研究機関）

B1－6　日本における気候危機対策－2026年時点の具体策・続報
○外岡　豊（埼玉大学）

B1－7　人口動態を基にした民生用エネルギー需要と社会資本形成
－人口減少局面における漸減対応型社会資本形成－
○武田　晃成（日本エネルギー経済研究所）

9：30〜12：00　セッションC1　再エネ-EV連携　会場：C（As311・312）

C1－1　Spatial Heterogeneity in Rooftop PV- EV Techno-Economic Performance Across Indonesian Cities and Regencies
○Nike Diah Agustin，Kobashi Takuro（Tohoku Univerisity）

C1－2　Understanding the socio-technical transition toward PV-EV integration：A review of implementation barriers and actor engagement
○TAO LINWEI，Kobashi Takuro（Tohoku Univerisity），
Yarime Masaru（The Hong Kong University of Science and Technology）

C1－3　経済インセンティブを考慮した住宅における分散型エネルギー資源と電気自動車充電の運用最適化
○沈　辰旸，安芸　裕久（筑波大学）

C1－4　内モンゴル農村部における風力・太陽光ハイブリッド発電充電スタンドの配置に関する研究
○BATUJIRIGALA，古林　敬顕（秋田大学）

C1－5　風力および太陽光発電の大量連系における電気自動車充電の活用，出力抑制の緩和効果に関する一考察，九州エリアに関する試算
○竹濱　朝美（立命館大学），歌川　学（産業技術総合研究所）

C1－6　Japanese Megasolar Narratives：What shapes support for utility-scale and rooftop solar?
○Sian Bareket，杉山　昌広，栗栖　聖（東京大学）

C1－7　EV電池と電力系統の統合に関するOEM各社の動向
○片岡　良介（豊田中央研究所）

9：30〜11：40　セッションD1　省エネルギー　会場：D（As313・314）

D1－1　DQNを用いた蓄熱ヒートポンプ暖房システムの電力コスト低減
○北代　真央（東京大学）

D1－2　太陽光発電量と電力・空調負荷の予測に基づく電気・熱エネルギーシステムの運用最適化に関する研究
○沖原　峻（北海道大学），長野　克則（苫小牧工業高等専門学校），佐藤　英樹（三建設備工業）

D1－3　ハイブリッド給湯機によるデマンドレスポンス効果の推計
○岸田　真一，水谷　傑（住環境計画研究所），所　寿洋，山本　雅亮（リンナイ）

D1－4　高効率給湯機器の中流プログラムについての事業者インタビュー調査
○中野　一慶，山田　愛花（電力中央研究所）

D1－5　中流プログラムの利用者経験と補助方式の選好
－東京ゼロエミポイントの補助利用者アンケートに基づく分析－
○山田　愛花，中野　一慶（電力中央研究所）

D1－6　スマートメータデータと大規模言語モデルを活用した事業所向け省エネアドバイス自動生成ツールの開発
○木村　宰（電力中央研究所），佐川　大志（東京大学），小松　秀徳（電力中央研究所），
田中　謙司（東京大学）

9：30〜12：00　セッションE1　＜企画セッション＞
研究プロジェクト「カーボンニュートラルなエネルギー需給に関する調査研究」報告会
会場：E（コンベンションホール）

13：00〜14：30　セッションA2　電力システム（1）DR・時間別CO_2　会場：A（An301・302）

A2－1　再生可能エネルギー大量導入下の全国電力系統における需要応答の需要シフトおよび調整力供出価値の分析
○久富　有峻，分山　達也（東京科学大学）

A2－2　時間別CO_2排出係数算出における連系線を通したエリア間CO_2授受に関する考察
○篠田　幸男, 矢部　邦明（早稲田大学), 佐々木　正信, 岡本　哲也（東京電力エナジーパートナー),
相磯　充，塩澤　守弘（東京電力ホールディングス），林　泰弘（早稲田大学）

A2－3　時間帯別CO_2排出係数に基づく系統用蓄電所の地域内再エネ活用評価
○倉橋　未岬，秋元　祐太朗，岡島　敬一（筑波大学）

A2－4　需要家向けアワリーマッチングにおける環境価値取引シミュレーション
○吉田　琢史，鈴木　絢香，李　根（東芝）

13：00〜14：30　セッションB2　再生可能エネルギー　会場：B（An401・402）

B2－1　Introducing infrastructure data into a global assessment of the potential of ground-based variable renewable energy
○SILVA HERRAN Diego（国立環境研究所）

B2－2　世界の洋上風力発電施設の開発状況と今後の見通し
○小田　潤一郎（秋田大学)，稗貫　峻一，朝野　賢司，永井　雄宇（電力中央研究所）

B2－3　洋上風力発電プロジェクトの中止要因の国際比較―日本と海外における理由の類型化―
○稗貫　峻一，朝野　賢司，永井　雄宇，間瀬　貴之（電力中央研究所)，小田　潤一郎（秋田大学）

B2－4　光量子センサと魚眼カメラを用いた営農型太陽光発電パネル下の面的実効遮光率の評価
○朴　俊泳，前　匡鴻，松橋　隆治（東京大学）

13：00〜14：30　セッションC2　国内エネルギー政策　会場：C（As311・312）

C2－1　Decomposing the effect of energy efficiency investment：A causal mediation analysis
○今村　勇哉，竹内　憲司（京都大学）

C2－2　エネルギー価格抑制策による家計支出上昇への定量的影響分析
○石田　博之（青山学院大学）

C2－3　エネルギー価格は新技術補助金よりも環境技術の普及を促すか？メタ分析による検討
○秋山　知也，吉田　好邦（東京大学）

C2－4　東京都墨田区・世田谷区における住宅用太陽光発電の導入要因と情報入手経路の分析
○平田　一真（芝浦工業大学）

13：00〜14：30　セッションD2　エネルギー資源・国際需給　会場：D（As313・314）

D2－1　イラン戦争・ホルムズ海峡封鎖後のLNG需給動向の一考察
○川上　寿夫（日本エネルギー経済研究所）

D2－2　米国燃料用エタノール先物市場における時系列モデルを用いた多因子リスク分析
○大川　寛之（日本エネルギー経済研究所）

D2－3　資源ナショナリズムの新たな動き　ー資源国における外資活用と輸出管理強化の動きー
○森　義雅，甲斐　容子（日本エネルギー経済研究所）

D2－4　九州地域の天然水素資源の有望地選定に関する技術検討の取組みについて
○加納　雅俊（九州電力)，山田　泰弘（九州大学）

13：00〜14：50　セッションE2　＜企画セッション＞
国際的な議論を経て深化するエネルギー研究 ーIAEE Santiago 2026における日本からの発表とその展開ー　会場：E（コンベンションホール）

E2－1　IAEEの活動と2026年チリ大会の紹介－国際的なエネルギー経済研究と交流－
○小川　順子，山下　ゆかり（日本エネルギー経済研究所）

E2－2　一律電気料金による厚生損失：日本の卸電力市場データを用いた実証分析
○徳永　亜海（京都大学）

E2－3　Comparative Analysis to Allocate Greenhouse Gas Emissions from International Shipping and Feedback from the IAEE International Conference in Chile
○澤村　信宏（京都大学）

E2－4　日本の太陽光発電のCO_2排出削減効果の実証分析
○杉本　康太（横浜国立大学）

E2－5　九州における太陽光発電と電力価格分布の広がりの関係に見られる季節非対称性
○福家　信洋（神戸大学），大橋　和彦（一橋大学）

14：50～16：20　セッションA3　電力システム（2）電源構成　　会場：A（An301・302）

A3－1　基幹系統の潮流制約を考慮した2050年の電化シナリオの評価
○志村　啓紀，山本　博巳（東北大学）

A3－2　データセンターの立地・運用を考慮した電源・分散型エネルギーシステム統合最適化モデルの構築と評価
○谷口　尚紀，藤井　康正，小宮山　涼一（東京大学）

A3－3　北海道周辺海域への洋上風力大量導入時における電力需給とオフグリッド型データセンター配置の影響評価
○白井　翔，佐藤　徹（東京大学）

A3－4　地域特性に応じた柔軟性技術による統合コスト低減効果
○尾羽　秀晃，小手川　鑑，遠藤　聖也，廣瀬　梨乃，張　天鴻，
坂口　弘泰（日本エネルギー経済研究所），松尾　雄司（立命館アジア太平洋大学），
大槻　貴司（早稲田大学）

14：50～16：20　セッションB3　バイオマス　　会場：B（An401・402）

B3－1　大阪・関西万博における食品残渣からのメタネーション実証用バイオガス製造
○牧野　航汰，大隅　省二郎，北村　一貴，湯田　遼（Daigasエナジー）

B3－2　分散型コーヒー廃棄物を対象としたバイオ燃料化の経済性評価に関する研究
○石田　嶺（京都大学）

B3－3　世界の農作物残渣の利活用シナリオ評価：バイオ炭生産とバイオプラスチック原料化の比較
○林　礼美（地球環境産業技術研究機構），Joni Jupesta（IPB University），
秋元　圭吾（地球環境産業技術研究機構）

B3－4　秋田県における地域特性を考慮したエネルギーフローの構築
○森尾　瑠星，古林　敬顕（秋田大学）

14：50～16：20　セッションC3　学校施設　　会場：C（As311・312）

C3－1　小中学校の電力需要特性を考慮したエネルギーマネジメントとCO_2排出量評価
○城所　研甫（芝浦工業大学）

C3－2　学校の複合クラスタ化による非常時防災性と平常時CO_2削減の同時達成
○石川　由翔，秋澤　淳，池上　貴志（東京農工大学）

C3－3　学校施設における気象条件を考慮した空調運用指針の検討
○岡野　陽斗（芝浦工業大学）

C3－4　大学キャンパスにおける太陽光発電導入と蓄電池容量の経済合理性に関する検討
○犬原　拓海（芝浦工業大学）

14：50～16：20　セッションD3　国際エネルギー・気候政策　　会場：D（As313・314）

D3－1　トランプ政権のエネルギー政策とシェール事業の実態
○甲斐　容子，森　義雅（日本エネルギー経済研究所）

D3－2　EUを事例にした気候政策の位置づけの変化
○和田　謙一（地球環境産業技術研究機構）

D3－3　中国の自動車電動化の動向，政府目標と自動車強国の実現可能性に関する一考察
○李　志東（長岡技術科学大学）
D3－4　中国の脱炭素化の動向と第15次五カ年計画の概要および課題に関する一考察
○李　志東（長岡技術科学大学）

特別講演会　　**会場：An棟 2 階　コンベンションホール**
＊16：45〜16：55　会長挨拶
＊16：55〜17：55　特別講演
「AI・データセンター」（仮題）
…東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授　　江崎　浩 氏
（司会）秋元　圭吾（エネルギー・資源学会 企画担当理事）
技術交流会　　**会場：An棟 1 階　ape cucina naturale**
＊18：15〜20：00

1 月27日（水）
9 ：00　受付開始

9 ：30〜12：00　セッションA4　電力システム（3）市場価格・運用・投資　　会場：A（An301・302）
A4－1　電力市場における小規模供給者の供給余力が市場支配力に与える影響の検討
○後藤　寛貴，森田　浩（大阪大学）
A4－2　起動停止計画後の価格計算における退化の診断－価格非一意性の確認－
○簑津　真一郎（電源開発），荻本　和彦（東京大学）
A4－3　PyPSAによる日本電力システムの実績再現：スポット価格と予備力運用の検証
○高瀬　香絵（自然エネルギー財団），Ivan Andrew Gunawan，分山　達也（東京科学大学）
A4－4　再生可能エネルギー大量導入下の系統慣性低下対策技術の評価
○瀬川　周平（J-POWERビジネスサービス），荻本　和彦，岩船　由美子（東京大学），
東　仁，礒永　彰（J-POWERビジネスサービス）
A4－5　ダム運用負荷の低減に向けた流入量予測技術の開発
○新垣　隆生，ポール　トポン，西野　兼治，森　淳二，影山　雄大，向　利昌，渡邉　経夫（東芝），
柳　健悟（東京電力リニューアブルパワー）
A4－6　電力市場と長期的な電源投資を接続するエージェントベースモデル研究の体系的レビュー
○大川　祐輝，鈴木　研悟（筑波大学），大沼　進（北海道大学），澁谷　長史（筑波大学）
A4－7　電源多段階確率計画モデルによる不確実性下の小型モジュール炉導入戦略の分析
○山嵜　ひかり，藤井　康正，小宮山　涼一（東京大学）

9 ：30〜12：00　セッションB4　エネルギーマネジメントシステム・調整力供出　　会場：B（An401・402）
B4－1　リゾートホテルにおけるアンモニア・水素利用分散型エネルギーシステムの経済性・環境性評価
○太田　聡，浅野　浩志，神原　信志，朝原　誠（岐阜大学）
B4－2　混合整数二次制約計画法を用いた双方向低温熱融通ネットワークの最適運用計画（需要家数の影響分析）
○戎崎　亮介，馬場　啓輔，橋口　萌，涌井　徹也（大阪公立大学）
B4－3　充放電効率最適化運用に係る蓄電システム群制御パラメータ空間の可視化
○有馬　理仁（大和製罐），福井　正博（立命館大学）
B4－4　予測・計画・制御を階層的に統合したPeer-to-Peer電力融通マネジメント
○竹内　翔真，黒田　こころ，橋口　萌，涌井　徹也（大阪公立大学）

B4－5　電力市場と再生可能エネルギーを考慮したデータセンターの計算負荷移動による電力コストと環境負荷の低減に関する基礎検討

○牧野　礼志，前　匡鴻，松橋　隆治（東京大学）

B4－6　最低入札量を考慮した分散最適化による電動物流機器群からの調整力入札量算定手法

○玉越　祐作（豊田自動織機）

B4－7　家庭用PV・蓄電池のアグリゲーションによる電力市場参画の経済性評価

○藤田　晴貴，前　匡鴻（東京大学），東ヶ﨑　智之，中村　一尊，別所　宏忠（京セラ），松橋　隆治（東京大学）

9：30〜12：00　セッションC4　部門別需要（1）自動車・家庭　　会場：C（As311・312）

C4－1　自家用乗用車の走行時CO_2排出量に影響を及ぼす要因の市町村間比較

○本城　慶多，原　昌司，志賀　孝広（豊田中央研究所），松橋　啓介（国立環境研究所）

C4－2　日本の市町村におけるBEV・PHEV普及率の分布と地域特性との関連分析

○高井　咲音，本城　慶多，日高　健（豊田中央研究所）

C4－3　家庭CO_2統計からみた高齢世帯の交通手段の現状

○星野　優子（ENEOS），小川　順子（日本エネルギー経済研究所）

C4－4　家庭部門世帯類型別エネルギー消費要因分析に関する研究〜家庭部門のCO_2排出実態統計調査より〜

○吉田　友紀子（早稲田大学），平野　勇二郎（国立環境研究所）

C4－5　地方都市における家庭用LPガス消費構造の比較分析：高岡市と富山市の空間的・地域特性に基づく考察

○耳浦　紬，青山　楽々，神野　拓哉，堀田　裕弘（富山大学）

C4－6　集合住宅におけるZEH-Mの実現可能性に関する研究

－建物階数・世帯構成・PV設置条件を考慮した実現可能範囲の評価－

○岩本　圭祐（岡山大学），中　勝，藤田　美和子（中部電力），魏　誠浩，鳴海　大典（岡山大学）

C4－7　2026年夏の節電実態の分析－家庭・事業所向けアンケートによる3か年比較－

○西尾　健一郎，吉岡　七海（電力中央研究所）

9：30〜12：00　セッションD4　産業連関分析応用　　会場：D（As313・314）

D4－1　CCS分析用産業連関表の作成：2020年エネルギー社会技術分析用産業連関表（ESTR-IO）を用いて

○鷲津　明由（早稲田大学），柳　懿秦，下田　充（日本アプライドリサーチ研究所），風間　政弥，磯谷　浩孝，中垣　隆雄（早稲田大学）

D4－2　排出削減目標シナリオにおける主要国の消費ベースCO_2排出量の将来分析

○本間　隆嗣，長島　美由紀，安藤　輝尚，佐野　史典，秋元圭吾（地球環境産業技術研究機構）

D4－3　デジタルイノベーションの普及と世界の物質・エネルギー需要との関連：国際産業連関表を用いた評価

○中野　優子，本間　隆嗣，秋元　圭吾（地球環境産業技術研究機構）

D4－4　脱炭素シナリオに残存する石油化学原料需要－需要側対策と連産構造上の波及経路の考察

○長島　美由紀，佐野　史典，本間　隆嗣，安藤　輝尚，秋元　圭吾（地球環境産業技術研究機構）

D4－5　2地域間産業連関分析による水素サプライチェーンの付加価値帰着の評価

－福島県産再エネ水素と輸入水素の比較－

○稗貫　峻一，中野　一慶，向井　登志広（電力中央研究所）

D4－6　FCV普及に向けたFCV・EV統合ステーションの運用評価と経済波及効果分析

○西田　陸人，秋元　祐太朗，岡島　敬一（筑波大学），金成　修一（日本自動車研究所）

D4－7　Does Freight Electrification Deliver Energy Savings? Economy-wide Rebound and Regional Spillovers in East Asia

○Dai Fangzhou（東京大学）

9：30〜11：40　セッションE3　エネルギー貯蔵・再エネ水素　　会場：E（As303・304）

E3－1　自然変動再エネ導入水準が長期エネルギー貯蔵導入規模に与える影響 －九州エリアを例として－
○元木　洋輔（日本エネルギー経済研究所）

E3－2　再生可能エネルギー大量導入下における液化空気エネルギー貯蔵（LAES）のシステム価値
○秋元　慎介（住友重機械工業）

E3－3　再生可能エネルギーの出力抑制電力を活用した東北地方における水素製造ポテンシャルの推計
○門田　直大，古林　敬顕（秋田大学）

E3－4　Design of a Hydrogen Supply System for Japan in 2050 Considering Energy Use, Water Use, CO_2 Emissions and Cost
○ゴンザレス　ファン，市川　彩，三野　真樹，荒木　幹也（群馬大学）

E3－5　Techno-economic assessment of grid-connected hybrid renewable energy system with Green Hydrogen utilizing Surplus Energy for E-SAF in Okinawa
○Hiu QiZhe（芝浦工業大学）

E3－6　エリア需給における太陽光等の余剰・回収を視覚化する図法の応用
○石川　明（静岡大学）

13：20〜15：30　セッションA5　エネルギーモデル（2）グローバルモデル・モデリング手法
会場：A（An301・302）

A5－1　世界温暖化対策評価モデルを用いたカーボンニュートラル達成時点の差異に関するシナリオ分析
○佐野　史典，藤崎　亘，永田　敬博，秋元　圭吾（地球環境産業技術研究機構）

A5－2　デジタル技術による低エネルギー需要・高ウェルビーイング社会の可能性
○秋元　圭吾，佐野　史典，長島　美由紀，林　礼美，中野　優子，
大西　尚子（地球環境産業技術研究機構）

A5－3　交通モデルと応用一般均衡モデルの統合による世界の運輸部門における脱炭素化シナリオの評価
○張　潤森，Fangzhou Dai，Hao Zheng（東京大学），花岡　達也（国立環境研究所）

A5－4　多地域コスト最小化モデルにおける根岸ウェイトの定式化
○森　俊介（東京理科大学）

A5－5　炭素価格の設計がエネルギーシステムに与える影響分析
－エネルギー技術選択モデルを用いた定量評価－
○永富　悠，尾羽　秀晃，小川　順子，清水　透（日本エネルギー経済研究所）

A5－6　地域間連系線最適計算モデルを活用した地域別・電化進展度別の再エネ電源の最適導入量
○鹿野　陽生，坂東　茂，馬場　旬平，界　波（東京大学）

13：20〜15：30　セッションB5　＜企画セッション＞エリアエネルギーマネジメントシステム（SIPプロジェクト）　　会場：B（An401・402）

B5－1　PV・蓄電池導入促進に向けたレジリエンス評価の活用可能性
○河合　俊明（東京大学），八木田　克英（東京エネルギー研究所），岩船　由美子（東京大学）

B5－2　既存事務所ビルストックにおける空調・換気運用改善対策導入効果の面的評価
○鈴木　真帆，Thidathip Kounnavong，山口　容平，内田　英明（大阪大学），
村上　公哉（芝浦工業大学），下田　吉之（大阪大学）

B5－3　地域熱供給施設におけるオペレータ支援型最適運転計画システムに関する研究（第1報）
後付け型システムの実装と試験導入による効果検証
○笠井　愛，武田　和樹，吉本　真莉子，村上　公哉，橘　雅哉，斉藤　浩，
那須原　和良（芝浦工業大学），小川　彰彦（E.I.エンジニアリング）

B5－4　公的データに基づく基礎自治体家庭部門二酸化炭素排出削減進捗の経年モニタリング
○橘　永悟，西村　純，矢延　陸，Andrew Marian Zajch，山口　容平，内田　英明，
下田　吉之（大阪大学）

B5－5　都道府県脱炭素計画のPDCA分析ツール －外生要因調整済み排出量による施策効果の切り分け－
○岩船　由美子（東京大学），八木田　克英（東京エネルギー研究所）

B5－6　地方自治体のニーズを考慮した家庭部門脱炭素化分析ユースケースの整理とケーススタディ
○矢延　陸，橘　永悟，Andrew Marian Zajch，山口　容平，内田　英明，下田　吉之（大阪大学）

13：20〜15：30　セッションC5　部門別需要（2）メッシュ統計・推計　　会場：C（As311・312）

C5－1　日本全国を対象にした500mメッシュ別部門別エネルギー種別エネルギー需要量の推計
○福原　貫太，白木　裕斗，林　希一郎（名古屋大学）

C5－2　様々な地域におけるPV余剰電力活用のための蓄電池導入時の系統全体の残余負荷
○片多　亨太，加藤　丈佳（名古屋大学）

C5－3　スマートメータメッシュ統計を用いた配電用変電所需要推計精度の改善
○Zhong Zhihua，岩船　由美子（東京大学）

C5－4　家庭部門の機器別エネルギー消費量推計に向けたボトムアップ・トップダウン統合モデルの構築
○中村　仁明（三菱UFJリサーチ＆コンサルティング）

C5－5　Power Demand Estimation for Commercial Building considering People Flow and Building Thermal Inertia
○鄭　翔宇，ZHENG Xiangyu, SHIRAKI Hiroto（Nagoya University），
HATANO Ryosuke, TOYODA Takayuki, SHIRAISHI Tsukasa（Chubu Electric Power Co., Inc.），
HAYASHI Kiichiro（Nagoya University）

C5－6　デグリーデー法による冷房需要推計の妥当性の検証
○堀川　雄平，下田　吉之，迫　晴気，五味　勇心（大阪大学）

13：20〜15：10　セッションD5　レジリエンス・EV運用　　会場：D（As313・314）

D5－1　家庭用蓄電池の蓄電量確保に伴う平常時電力コストと緊急時電力自給の相反構造分析
○松原　雅，小澤　暁人，本田　智則（産業技術総合研究所）

D5－2　確率動的計画法による分散型地域循環エネルギーシステムの複合災害に対するレジリエンス評価
○鈴木　梨那，小宮山　涼一，藤井　康正（東京大学），千住　琴音，森　一之（三菱電機）

D5－3　運行スケジュールと太陽光発電の余剰電力を活用した大学送迎用電気バスの車両運用・充電計画の検討
○濵田　航颯（芝浦工業大学）

D5－4　EVによるリソースと需要の動的な最適配置を目指した電力レジリエンスEMSの提案（第2報）
○飯野　穣，大崎　文暉，林　泰弘（早稲田大学）

D5－5　運輸事業者の配送用EV車両の最適充電／運行計画モデルの構築
－配送用トラックの実走行データに基づくEV代替性の検討－
○山田　智之，東谷　拓弥，高橋　雅仁（電力中央研究所）

16：00〜17：30　セッションA6　マテリアル　　会場：A（An301・302）

A6－1　重要鉱物の需要・価格変化が自動車技術選択と脱炭素シナリオに与える影響
○小松原　充夫，西　智樹，原　昌司（豊田中央研究所）

A6－2　資源循環は対外依存を解消するか－ネオジム磁石の二次資源ネットワークとチョークポイント
○張　睿（日本エネルギー経済研究所）

A6－3　GCAMを用いた日本鉄鋼部門の脱炭素化経路分析：DRIの国際貿易を考慮した技術選択
○後藤　恵陸，西田　裕子，高瀬　香絵，長谷　しほり，木村　誠一郎（自然エネルギー財団）

A6－4　2020年産業連関表とそれに対応した3EIDを使った主要鉄鋼製品の環境負荷物質排出原単位の推計
－2005年，2011年，2015年との時系列推移比較を含めて－
○村橋　喜満（かずさ環境研究所）

16：00〜17：10　セッションB6　CO_2吸収　　会場：B（An401・402）

B6－1　陸域生態系によるCO_2吸収に関する科学的知見の現状と吸収源の評価
○加藤　悦史（エネルギー総合工学研究所）

B6－2　風化促進システムへの再生可能エネルギー活用の検討
○酒井　慎，秋元　祐太朗，岡島　敬一（筑波大学），
Rendi Rustandi，北川　直美，森本　慎一郎（産業技術総合研究所）

B6－3　CO_2回収装置の設置地点・規模の最適化手法の構築
○木村　知義，田中　光太郎（茨城大学）

16：00〜17：10　セッションC6　機械学習　　会場：C（As311・312）

C6－1　機械学習と局所線形回帰による電力市場関連価格の予測誤差の説明
○松本　碧，前　匡鴻，松橋　隆治（東京大学）

C6－2　ニューラルネットワークを用いた短期ガス需要予測に関する体系的レビュー
○浦崎　貫一郎，鈴木　研悟（筑波大学）

C6－3　家庭用LPガス日次需要予測における最適な集計粒度と外生変数の検討
○耳浦　紬，神野　拓哉，堀田　裕弘（富山大学）

16：00〜17：10　セッションD6　セクターカップリング　　会場：D（As313・314）

D6－1　Hydrogen in a Low-Carbon Energy System：A Sector-Coupled Analysis of Tohoku, Japan
○TUO ZHANG，小端　拓郎（東北大学）

D6－2　化学品原料の脱化石化が日本の電力システムに与える影響の分析
○久田　幸輝，白木　裕斗（名古屋大学）

D6－3　2050年カーボンニュートラルに向けたエネルギーキャリアの動学的モデル分析
○高田　和希，秋澤　淳，池上　貴志（東京農工大学）